

特色あるふるさと教育事例

学校名	海士町立海士中学校		
学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
2	総合的な学習の時間	「自分たちの力で、地域を盛り上げよう」	学習を通じた、ふるさとへの愛着や誇りの醸成

①取組の概要

町内にある4つの地区（地区は町全体で14ある）を舞台に、自分たちにできることや得意なことを生かして地域を元気にする活動を企画・実践した。授業の展開にあたっては、各地区の区長さん、公民館長さん、子ども会の会長さん、教育委員会のスタッフなどに携わっていただきながら、地区の実態の調査などに取り組んだ。

②ふるさと教育の視点を持った授業（活動）にせまるための授業づくりのポイント（工夫）

- ・フィールドワークで実際に足を運び、その地区の「現地・現物・現人」と関わることに重きを置いた学習活動を展開した。
- ・互いの顔と名前が見えるような関係づくりを心がけるために、一度きりではなく、何度も足を運んでお話をする機会をもつように努めた。
- ・各地区のキーマンとの繋ぎ手として、コーディネーターや教育委員会の地区担当者と連携しながら授業づくりに取り組んだ。

③児童・生徒に見られた変容

- ・地域に住む大人と意欲的にコミュニケーションをとろうとする姿が見られるようになった。
- ・学校外での地域行事に参加する姿が見られるようになった。

【各地区フィールドワークの様子】



【生徒の感想】

- ・最初はあまり多井のことを知らなかったけど、今回の学習を通して多井のことに興味を持てたり、温かさを感じたりすることができた。
- ・ランタンづくりをして多井の人たちの笑顔が見られ、シーグラスもアピールできたのでよかった。
- ・地区のことを調べていくごとに地区のよさを生かしたイベントを考えることができた。